

(4) 医療及び介護は国民の視点に立ったサービスを提供出来ているか～医療福祉連携士の役割を考察する～

下村 裕見子(北里大学大学院/医療福祉連携士1期生)

(5) 日本医療マネジメント学会(医療福祉連携講習会)について

大久保 一郎(横浜市衛生研究所所長/医療福祉連携講習会実行委員)

4. 高齢者救急の諸問題

座長：安藤 健二郎(仙台市医師会会長)

高橋 毅(国立病院機構熊本医療センター院長)

基調講演 高齢者救急の現況と対策

安藤 健二郎(仙台市医師会会長)

(1) 在宅診療、高齢者施設での救急の現況と課題

小豆畑 丈夫(医療法人青燈会小豆畑病院理事長・病院長兼救急・総合診療科部長)

(2) 高度急性期病院における高齢者救急への対応

山内 聡(仙台市立病院救命救急センター長)

(3) 高齢者救急問題への救急医学会からの提言

真弓俊彦(地域医療機能推進機構中京病院副院長、ICU診療部長)

(4) 高齢者救急搬送の現状と問題点

佐々木 隆広(仙台市消防局救急部救急企画課救急企画課長)

5. 臨床評価指標の運用について

座長：伏見清秀(東京科学大学医療政策情報学分野教授)

(1) 臨床評価指標の運用について

本橋隆子(聖マリアンナ医科大学予防医学教室講師)

(2) 医療の質の可視化のためのビッグデータの活用

森脇睦子(東京科学大学病院QMセンター副センター長)

(3) 臨床評価指標を活用したQM

鳥羽 三佳代(東京科学大学医療本部クオリティ・マネジメント・センター)

(4) QIによる医療の質評価と改善活動

金沢 奈津子(国立病院機構本部総合研究センター主任研究員)

(5) データ分析～改善活動～評価に基づいたクオリティをマネジメントする人材育成

白神 幸太郎(国立病院機構京都医療センター副院長)

6. TQM—医療の質・安全教育の体系的な実践と継続—

座長：梶原千里(静岡大学情報学部准教授)

棟近雅彦(早稲田大学理工学術院創造理工学部教授)

(1) 医療の質マネジメント・医療安全教育の変遷

坂田一美(川口市立医療センター元副院長/医療の質安全管理センター副センター長)

(2) 医療の質マネジメント基礎講座を活用したTQM教育の実施

早津成夫(国立病院機構埼玉病院副院長)

(3) 改善人材開発プログラムの実践

立石奈々(飯塚病院改善推進本部マネージャー)

(4) QCサークル活動の人材育成体系化の取り組み

鈴木靖士(国立病院機構仙台医療センター臨床研修部長)

7. 働き方改革の進行状況

座長：黒澤 一(東北大学大学院医学系研究科産業医学分野教授)

岡 俊明(聖隷浜松病院院長)

(1) 病院総合医の導入の効果

星乃明彦(済生会熊本病院包括診療部長)

(2) 地域の現状

笠島浩行(市立函館病院消化器外科科長)

(3) 救急病院に及ぼす現状

田邊翔太(松江赤十字病院救急部部長)

(4) タスクシフトについて

小林修三(湘南鎌倉総合病院院長)

8. 医療情報ネットワーク(EHR)

座長：張替秀郎(東北大学病院院長)

(1) みやぎ医療福祉情報ネットワーク(MMWIN)について

大田英揮(東北大学病院メディカルITセンター教授)

(2) あじさいネット@長崎の現況

松本武浩(長崎大学病院准教授 医療情報部長)

(3) 桑名医療DXプロジェクトの展開

北川覚也(三重大学 三重の未来図共創機構教授/三重大学医学部附属病院医療DXセンター長)

(4) 東京総合医療ネットワーク@都市型地域連携

林 宏光(日本医科大学ICT推進センターセンター長/日本医科大学付属病院放射線科部長)

9. 在宅医療における地域連携・薬業連携

座長：赤瀬朋秀(日本経済大学大学院経営学研究科教授)

西村康人(国立病院機構仙台医療センター薬剤部長)

(1) 地域医療におけるアライアンスの実践にむけて

赤瀬朋秀(日本経済大学大学院経営学研究科教授)

(2) 地域医療の持続可能性を目指した在宅専門薬局の役割

片岡雅人((株)HASC事業団事業統括部長)

(3) 地域における薬局と福祉との連携

鈴木 すみれ(株式会社なの花東北)

(4) 地域における病院薬剤師の役割～地域連携を通して私たちが出来ること～

大内 友季江(光ヶ丘スパーマン病院薬剤科)